

2020 年度実施概要

学校名

松本市立鎌田小学校

採択活動名

人と地域と水（湧き水、川）とのかかわりからの学び
～探求心を持って自ら学ぼうとする子どもの育成～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 「手づくりふね」にのろう	2	生活科
2. 「鎌田お宝探検」～川の生き物編～	3	総合・社会
3. 循環する水の旅 ～きれいな水作り～	4	総合・社会

取り組みの概要

テーマ

人・地域・水とのかかわりを、体験したり調査したりすることを通して、探求心をもって自ら学ぼうとする子どもを育てる。

- ・ 地域の川や水とふれ合い、親しむことで、川への関心をもつ…低学年
- ・ 地域の川を知り、調査することから、川の水が資源になっていることを知る…中学年
- ・ 地域の川から、川が流れていく先の地域や海に起こる環境問題に気づき、自分たちに実践できることを考え行動する…高学年

学習内容

- (1) 砂場で川を作って遊ぼう（1年生・生活科）
砂場で砂を掘って川やトンネルを作ることから、水が流れて川ができることや、高い方から低い方へ流れることを体験する。
- (2) 川遊び「手作りふね」にのろう（2年生）
自分たちで船づくりをし、川に浮かべて遊ぶことを通して、自然に親しみ川への関心をもつ。
- (3) 鎌田お宝探検（3年生）
地域探検の中で、鎌田には川がたくさんあることや、川は合流をしさらに大きな川になることを知る。さらに川の生き物観察を通して川への関心を深める。
- (4) 循環する水の旅 ～きれいな水作り～（4年生）
社会で上下水道の水の流れを学習し、ダムの水が飲み水という「水資源」になることを知る。さらに、自分たちで水をきれいにすることを通して、水の大切さに気付く。
- (5) 環境を守る私たち（5・6年生）
これまでの経験から身近にある川が「それほど汚れていない」という認識の子どもたちが、プラゴミの存在を認識し、川が流れていく先の地域・海へ意識を向け、自分たちにできることを考える。

活動中の写真



手作り船に乗り川下り（2年）



川で生き物を捕まえて観察（3年）



汚れた水をろ過してきれいな水に（4年）



川の中のごみをできるだけ拾ったんだけど（5年）